

参考資料 2

H27.6.30 第2回専門部会提示資料

家庭ごみ処理手数料の検証

環境部生活環境課

家庭ごみ処理手数料(定期収集によるもの)の検証項目

【検証1】 一定の排出抑制効果を得ているか。

【検証2】 ごみ処理経費からみた手数料負担割合に大きな変化がないか。

【検証3】 1世帯当たりの月額負担額が大きすぎているか。

【検証4】 周辺市町村における手数料の料金水準の考慮

【検証1】 一定の排出抑制効果を得ているか。

有料化制度導入前と比較して可燃ごみ・不燃ごみともに、年度によって若干の変動はあるものの10%以上減量している。

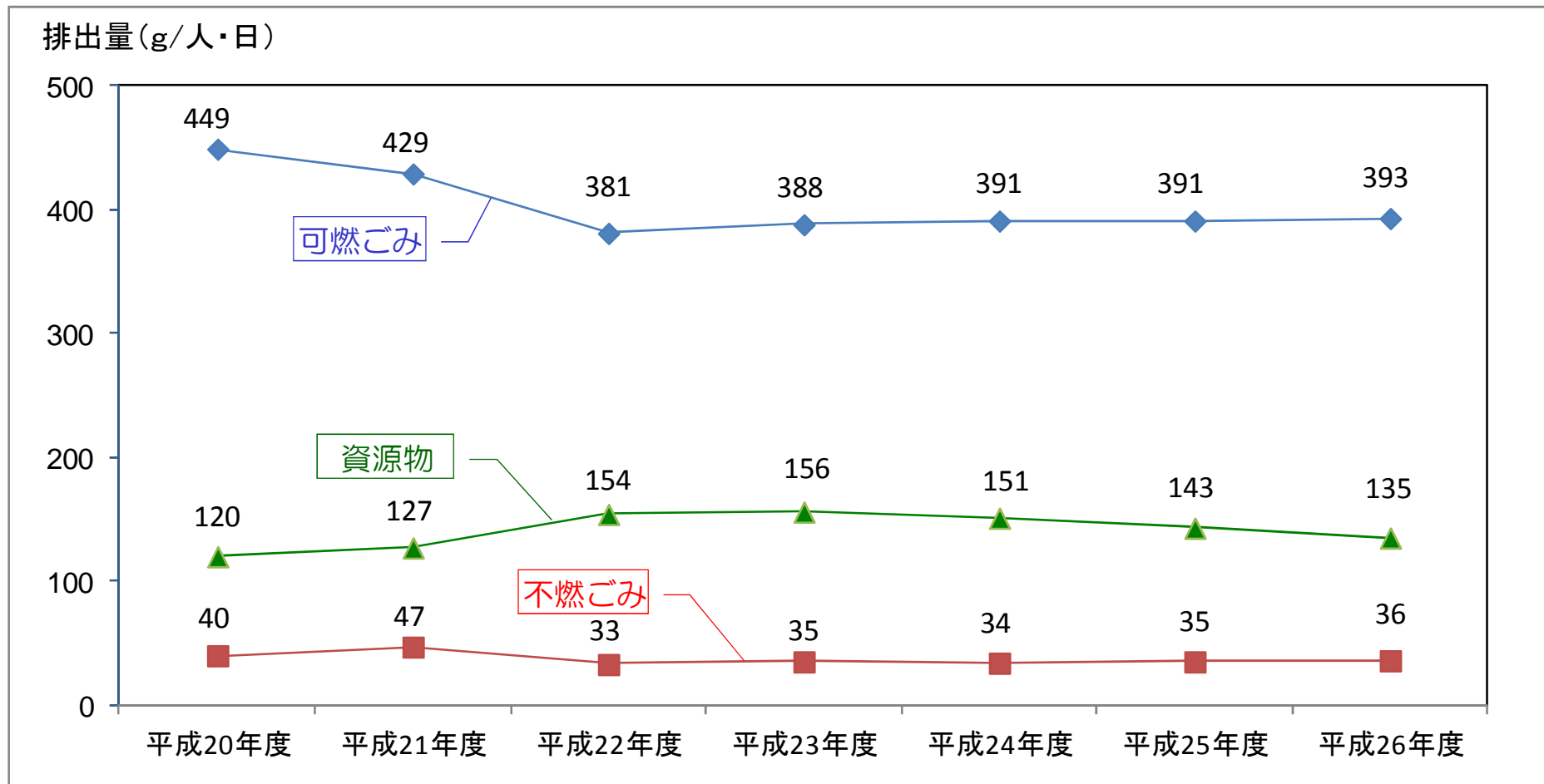
平成23年度以降は一定の排出抑制効果を維持している。

年度	家庭系可燃ごみ		家庭系不燃ごみ		人口
	排出量	H20年度対比	排出量	H20年度対比	
H20	63,091 t	—	5,697 t	—	384,656 人
H21	60,168 t	-4.6%	6,582 t	15.5%	384,327 人
H22	52,991 t	-16.0%	4,604 t	-19.2%	381,511 人
H23	54,062 t	-14.3%	4,812 t	-15.5%	380,768 人
H24	54,241 t	-14.0%	4,659 t	-18.2%	379,867 人
H25	54,032 t	-14.4%	4,794 t	-15.8%	378,882 人
H26	54,124 t	-14.2%	4,930 t	-13.5%	377,626 人

※ H26年度の増加は、長野県神城断層地震の影響が考えられる。

【参考】ごみ量等の推移

市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量



※ 資源物には、集団資源回収量は含まない。

【検証2】 ごみ処理経費からみた手数料負担割合に大きな変化がないか。

ごみ処理経費に対する家庭ごみ処理手数料の負担割合はおおむね9%で、その負担割合は大きく変化していない。

年度	ごみ処理経費 ①	家庭ごみ処理手数料 ②	負担割合 ②/①
H22	3,737,156千円	334,946千円	9.0%
H23	3,667,945千円	326,741千円	8.9%
H24	3,692,882千円	333,663千円	9.0%
H25	3,939,546千円	369,113千円	9.4%

「ごみ処理経費」とは、啓発、補助事業等を含めたごみ処理行政全般に係る事業費（決算ベース）の総額

【参考】ごみ処理経費等の推移①

1 ごみ処理経費

単位：千円

歳出		H23	H24	H25	
建設・改良費	工事費	中間処理施設（※1）	603,531	675,203	631,019
		最終処分場	9,450	20,736	85,124
	小計		612,981	695,939	716,143
処理及び維持管理費	収集運搬費		984,694	995,139	1,006,851
	中間処理費		617,389	621,704	627,975
	最終処分費		141,642	152,765	(※2) 367,477
	その他		20,508	20,319	20,433
	小計		1,764,233	1,789,927	2,022,736
その他	生ごみ減量啓発		1,320	1,575	1,457
	大型生ごみ処理機モデル事業		2,162	2,121	2,131
	不法投棄対策		5,988	6,498	6,360
	指定袋流通管理費等		35,388	34,112	35,596
	生ごみ自家処理機器購入補助金		5,998	5,644	4,781
	ごみ分別等啓発・指導		11,998	15,155	12,687
	資源回収報奨金		93,794	93,168	86,775
	長野広域連合負担金		99,759	106,974	150,049
	北信保健衛生施設組合負担金		88,285	75,742	52,943
	リサイクル基金積立金		212,499	128,184	126,197
	その他		23,237	49,905	38,197
	小計		580,428	519,078	517,173
人件費		710,303	687,938	683,494	
合計		3,667,945	3,692,882	3,939,546	

※1 表中の「中間処理施設」は、清掃センターの焼却施設、リサイクルプラザ及びプラスチック製容器包装圧縮梱包施設。

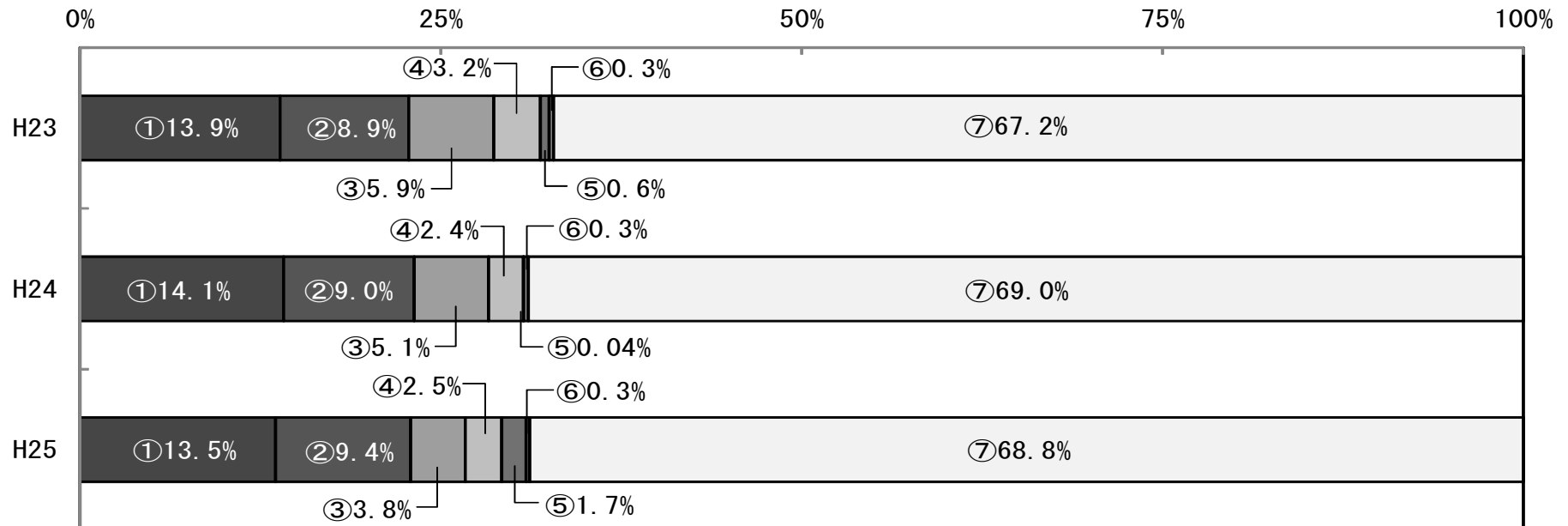
※2 天狗沢最終処分場への埋立終了（H25年3月）に伴い、焼却灰等の全量外部搬出によりH25年度は歳出が増加。

【参考】ごみ処理経費等の推移②

2 ごみ処理経費の財源内訳

単位：千円

年度	特定財源						一般財源	合計
	① 清掃センター 搬入手数料	② 家庭ごみ処 理手数料	③ リサイクル基 金繰入金等	④ 資 源 物 売 払	⑤ 国 庫 ・ 県 支 出 金	⑥ 売 電 収 入	⑦ 税 ・ 交付税	
H23	508,369	326,741	216,543	118,643	21,989	10,955	2,464,705	3,667,945
H24	521,122	333,663	190,115	88,980	1,502	11,235	2,546,265	3,692,882
H25	533,509	369,113	149,266	98,574	66,749	10,605	2,711,730	3,939,546
(構成比)	(13.5%)	(9.4%)	(3.8%)	(2.5%)	(1.7%)	(0.3%)	(68.8%)	(100.0%)
	31.2%						68.8%	100.0%



【参考】ごみ処理経費等の推移③

3 ごみ処理手数料の推移及び使途

有料化制度導入後1世帯当たりの手数料は2,000円程度で大きな変化はない。

H25年度は消費税増税に伴う駆け込み消費により歳入が増加。

単位：千円

年度	歳入	内訳・・・ごみ処理手数料の使途（充当先）									1人 当たり(円)	1世帯 当たり(円)
		生ごみ減量 啓	大型生ごみ処理 機モデル事業	不法投棄対策	指定袋流通管 理費等	剪定枝葉処理 費	剪定枝葉等収 集運搬経費	生ごみ自家処理機 器購入費補助金	ごみ分別等 啓発・指導	資源回収報 奨金		
21	258,258	976	1,696	5,373	53,777	12,831	183,605	-	-	-	666	1,695
22	334,946	1,151	2,167	5,648	32,432	52,600	140,842	-	-	100,106	865	2,186
23	326,741	1,320	2,162	5,988	29,711	57,767	120,711	5,998	9,290	93,794	846	2,120
24	333,663	1,429	2,121	6,498	31,314	54,194	128,966	5,644	10,329	93,168	866	2,153
25	369,113	1,414	2,131	6,360	32,413	64,486	161,471	4,781	9,281	86,775	961	2,364
26	315,508	1,450	2,181	5,751	28,679	70,970	110,379	3,697	9,832	82,569	824	2,008

※21年度は10月1日から有料化が導入されたことから、有料指定袋等を販売開始した9月からの手数料収入となる。

※1人当たり・1世帯当りは、翌年4月1日現在人口で積算。

※26年度は決算見込みベース。

※端数処理の関係から、歳入と内訳の計が一致しない場合がある。

**【検証3】 1世帯当たりの月額負担額が大きすぎ
ていないか。**

1世帯当たりの月額負担額は、有料化制度導入後
300円弱を維持しており、過度な負担となっていない。

年度	月額負担想定額／世帯
H20	331円
H21	320円
H22	284円
H23	287円
H24	285円
H25	283円
H26	281円

【参考】月額負担想定額内訳

平成20年度

種類	使用枚数…A	袋実費負担額…B (10円×A)	ごみ処理手数料…C (30%袋×1円×A) (粗大ごみシールは1枚40円)	市民負担額 (B+C)
可燃ごみ	84.4枚	844円	2,532円	3,376円
不燃ごみ	5.7枚	57円	171円	228円
プラスチック製容器包装	24.6枚	246円	0円	246円
粗大ごみシール	3枚	0円	120円	120円
年間負担想定額…E		1,147円	2,823円	3,970円
月額負担想定額 E/12月		96円	235円	331円

平成26年度

種類	使用枚数…A	袋実費負担額…B (10円×A)	ごみ処理手数料…C (30%袋×1円×A) (粗大ごみシールは1枚40円)	市民負担額 (B+C)
可燃ごみ	70.9枚	709円	2,128円	2,838円
不燃ごみ	4.6枚	46円	137円	182円
プラスチック製容器包装	23.6枚	236円	0円	236円
粗大ごみシール	3枚	0円	120円	120円
年間負担想定額…E		991円	2,385円	3,376円
月額負担想定額 E/12月		83円	199円	281円

注1) 使用枚数Aは、各年度1年間に家庭から排出されたごみ量を30%袋の枚数等に換算

注2) 指定袋の流通価格を1枚10円として算定

【検証4】 周辺市町村における手数料の料金水準 の考慮

周辺市町村（長野広域連合構成8市町村）の料金水準は、おおむね均衡が図られている。

- 8市町村のうち、本市を含む6市町村で有料化を実施。
- 本市同様に1円／1^{リットル}の料金水準が最も多い。

【参考】近隣市町村のごみ処理有料化状況

市町村	ごみ処理手数料		指定袋代		手数料改定 (見直し)
	制度導入	料金体系	実費負担	料金	
長野市	H21.10～	1円/リットル 粗大ごみシール1枚 40円	○	販売店により異なる	—
須坂市	H22.7～	1円/リットル 粗大ごみシール1枚 50円	○	販売店により異なる	予定なし
信濃町	H21.4～	1円/リットル	○	販売店により異なる	予定なし
千曲市	H22.4～	可燃55リットル・25リットル、不燃40リットル一律1枚 40円 1人世帯70枚、2人世帯90枚、以下1人増えるごとに10枚加算。ただし、必要に応じ1世帯50枚を限度に追加利用可 追加分は1枚 150円	○	販売店により異なる	予定なし
小川村	H18.4～	40リットル1枚40円(手数料+袋代)	○	40リットル1枚40円 (手数料+袋代)	予定なし
坂城町	H22.4～	可燃(40リットル)1枚 20円 可燃(20リットル)1枚 20円 不燃(30リットル)1枚 20円	○	可燃(40リットル)1枚 20円 可燃(20リットル)1枚 15円 不燃(30リットル)1枚 20円	予定なし
飯綱町	—	—	○	販売店により異なる	有料化導入に向けて検討中
高山村	—	—	○	販売店により異なる	有料化導入 予定なし